

ナースライトレター

vol.10
2018.08.01.

LunaCare/LunaFace OLED Nurse Light NEWS LETTER

「有機EL光は生体に有効」、これまでの光の評価とは全く違う価値の評価です。

休息効果や眩しさ低減の効果、眠っている人や休んでいる人を相手に使うのには最適であることがわかります。これからも用途の広がりが期待できる有機EL照明です。

有機EL照明による休息効果

- 心拍数減衰効果がある
- 有機EL光源を直視しても脳波α波が持続する



照明による眼電図への影響

- 有機EL光源を直視しても眼球運動が少ない
- 眩しさが低減される



登場からのアーカイブ

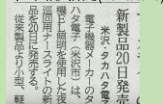
有機EL医療照明プロジェクトの歴史(完)

2016年5月20日、いよいよ新ナースライトの販売日が決まりました。プレス発表の準備をしている中で、吉村山形県知事が5月16日の記者会見にてプレスに対して発表して頂きました。山形県にとっても貴重な資産の有機EL照明、尚のこと活用を拡げたいと思えました。5月31日にはさくらんぼテレビの方が来社されて取材をお受けしました。暗室で光を受ける患者の役割をアナウンサー自ら体験して頂きました。驚きの言葉が印象的でした。

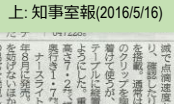
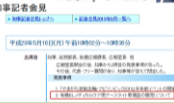
下: さくらんぼテレビ(2016/5/31)



下: 山形新聞(2016/5/20)



上: 知事室報(2016/5/16)



新技術・有機ELの導入実績⑤ 博物館展示照明 (補助照明)

有機EL光は発熱がほとんどなく紫外線も出さないことから重要文化財を近くで照らすのに最適です。空間デザインの丹青社に連携頂き、「有機ELユーティリティライト」として商品化しました。



写真協力
(株)丹青社
左から、
古代初江口
博物館
壺屋焼き物
博物館

国の研究機関(CEREBE)の実証報告

Vol.3で一部紹介しましたが、有機EL照明に関して、従来の光の性能評価では測れない「生体にとっての快適さ」を評価しようと、2015年度から2年間に渡って、CEREBE「次世代化学材料評価技術研究組合」が、大学病院、医者、デザイナー等と組んで試験を実施され、結果が発表・公開されました。ここからも、医療・看護・介護等のヘルスケア環境で使う照明として有機EL光が最適なのかがわかります。ナースライトはこの流れに沿った最初の商品です。

報告資料は全て専用WEBからダウンロードができます。左のQRコードにアクセスして下さい。
<http://cereba.or.jp/fitplus/index.html>



ナースライト導入病院のご紹介

関東地方
近畿地方



千葉脳外科病院 (千葉県稲毛区)
脳神経外科専門医が診察する脳の専門医療施設。さまざまな脳の障害に対して早期治療から早期リハビリテーションを通じた急性期医療を担われております。



京丹後市立弥栄病院 (京都府)
1948年に診療所として開設されて以来京丹後地方の中核病院として質の高い医療の提供を目指されている病院です。2017年11月に新棟での診療を開始されましたが、ナースライトも導入頂きました。

ナースライトカタログ・バックナンバー紹介②



2代目のカタログは、大阪で開催される看護・介護展への初出展での使用、2016年2月投入を目標に作成したものでした。この代では、商品の3つの柱と共に有機EL光についての詳しい説明を付け加えました。利用は病院だけでなく「メディカルケアライト」としましたが、最終的には馴染みの「ナースライト」に戻しました。



安全な病院経営、看護師さんの笑顔のために。

ゼロ
ヒヤリ・ハット
医療事故0へ

光る秒針機能搭載

看護・介護のプロが持つ、「人に寄り添う」ための照明

新型ナースライト

メディカルケアライト

最新の調色型有機ELを使い、現場の課題を解決

本商品用に開発した
国産有機ELパネル
世界初の塗布調色の
新技術搭載

プロ仕様の照明を謳う3つの特長

- 両手が使えるので、安全に確実に作業できる
～全体を均一に照らすので、視野が広く確認などの作業に最適
- 用途に応じて最適な光に切替えて作業できる
～巡回時に眠りを妨げない光、確認時に状態が正しく見える光
- 均一な明るさの照明を常に付けて作業できる
～専用クリップで服へも簡単に取り付け、熱が出ないので安全

実物大

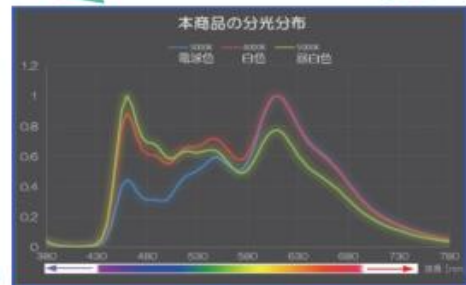
服から外し、カート台や
床頭台に置いて使えます。



医療事故につながる「ヒヤリ・ハット」分析を見ると、看護師に関わる部分が極めて多いことがわかります。

- 病院での「ヒヤリ・ハット」の分析では、
- ・看護師が80%以上(准看護師/看護助手を含む)
 - ・病室での発生が56%
 - ・処方や療養生活の場面で50%
 - ・「確認不十分」、「観察不十分」で57%
- 他にも看護師に絡む原因が続く。

出所 日本医療機能評価機構



色を変えても、太陽光に近い平坦なスペクトルは、対象物の発色を見逃さずに確認するのに最適です。

データ測定：バイオニアOLEDライティングデバイス株式会社